

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①自らを振り返り、よりよく生きようとする豊かな心を育むため、学級経営を基に道徳の時間の充実を図る。 ②豊かな感性が育まれるよう、地域など様々な方々と関わり、「本物」に触れるような体験的活動を行う。 ③相手を思いやる心を育むため、子どもが主体的に活動できるフレンドチーム等、交流の場を設定する。
担当	児童活動・生活環境

豊かな心に関わる本校の状況
<p><よさ・強味></p> <ul style="list-style-type: none"> ○新しいことへの興味関心が強い ○自分が思っていることや考えを素直に表現することができる ○友達と協力して取り組むことができる。 ○どんなことにも前向きに取り組むことができる。 ○指示されたことを素直に受け止め、素早く行動できる力 <p><今後身につけたい力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いをもつとともに、友達の思いも大切にしている ・困ったときに言葉で理由や状況を伝える力 ・優先順位を考えて見通しをもって行動する力 ・問題が起きた時に、自力や周りの人に相談しながら問題解決できる力 ・指示を受ける前に、自分ですべきことや周りの役に立つことを考えて行動できる力

今年度の目標
一人ひとりの自己肯定感を高め、思いやりの心を育む児童支援の充実を図る

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	①年間を通していじめの実態把握をし、未然防止を目指した取組を行う。 月1回の学校生活アンケートやハートフルウィークを通して、児童の思いを汲み取るとともにいじめの実態把握、未然防止につなげる。 代表委員会や子ども会議を通して、児童主体で話し合い活動につなげる。道徳の時間を通して自らを振り返り、よりよく生きようとする心を育む。
下半期	②道徳の学習を通じて、自らを振り返ることで自分の思いをもち、学校生活の中で学んだことを実践できる児童を育てる。 ③子どもが主体的に活動できる場面を設定する。フレンドチームや学習発表など異学年を意識した活動を行い友達や相手を思いやる心を育成する。 よりよい学校生活になるように、今できることを考えながら子どもが主体的に活動できるようにする。
	①地域、専門の方をお呼びして牛久保のまちに目を向け、地域と関わり、体験的な活動を通して「本物」に触れ、豊かな感性を磨く。 ②人権週間の取組を系統的に行い、学習内容や気付きを紹介し合い、全校で人権への意識を高める。人権研修や資料を使って人権にかかわる意識を高める。また、取組を保護者や地域に発信する。 ③YPアセスメントを活用した児童理解をすすめる。 「いじめ防止メソッド」「子どもの社会的スキル横浜プログラム」の計画的な取組を行う。 ④他機関と連携した情報モラル教育を実施する。